

議会だより



雨の中、走る審判員！
平成28年度 消防操法大会

平成28年6月定例会・臨時会

あらまし・議案審議	2
請願・陳情・委員会提出議案	3
予算審査特別委員会・臨時会	4
一般質問 9人が登壇	5
委員会報告	14
町民の声	16

あらまし

平成28年度第5回定例会は6月7日から6月16日まで開催されました。

町長から提出された議案は、平成27年度繰越明許費に係る報告1件、出資法人等に係る経営状況報告6件、平成28年度補正予算2件、工事委託に関する基本協定の締結1件、工事請負契約の締結4件、財産の取得1件であり、すべて全会一致で原案のとおり可決しました。

一般質問は9人の議員により行われました。

ほかに、委員会提出議案1件が提出されました。

【審議した主な議案】

道の駅「猪苗代」関連工事

地域経済の活性化を図り、災害対策拠点を整備するため以下の工事請負契約を締結した。

【敷地造成・外構工事請負契約の締結】

契約金額 678万2千円
工期 平成28年9月30日

【舗装工事（第1工区）請負契約の締結】

契約金額 583万2千円
工期 平成28年10月31日

【舗装工事（第2工区）請負契約の締結】

契約金額 723万6千円
工期 平成28年10月31日



平成28年度オープン予定の「道の駅 猪苗代」
※イメージ図であり、今後変更があります

【平成28年度猪苗代町一般会計補正予算】

560万2千6百円を追加し、歳入歳出予算の総額を82億6994万8千円とする。

【平成28年度猪苗代町国民健康保険特別会計補正予算】

歳入歳出予算総額は当初予算の19億4100万円と変更はないが、震災後の長引く地域経済の低迷と、風評被害の影響を考慮し、税率を据え置くこととしたため、見込んでいた現年課税分の163万3千8百円を国民健康保険基金から繰り入れることとした。

【猪苗代町デジタル同報系防災行政無線設備工事請負契約の締結】

自然災害等の有事の際、地域住民への確な災害情報を提供する連絡体制を確立するため、同報系屋外拡声子局設備30局、同報系再送信子局設備1局、同報系個別受診設備500台を、契約金額1億371万6千円、契約期間を平成29年3月31日とし整備する。

【主な質疑】

「猪苗代町公共下水道事業根幹的施設の建設工事委託に関する基本協定の締結」

問 この協定を締結することにより下水道料金に影響はないか。

答 料金に変動はない。

【道の駅猪苗代】関連 工事請負契約の締結

問 道の駅の残工事は。

答 建物西側の防雪柵設置工事、太陽光・地中熱の工事などがあるが、道の駅の開業にむけて、工期は十分であると判断している。

問 舗装工事を1工区と2工区に分けて発注している理由は。

答 土木工事積算基準に工事日数表があり、一括発注すると面積が大きいため、半年を要する。工期を本年10月末としているため、2つに分割し発注した。

問 駐車場の台数は。

答 大型車が16台、小型車が164台、身体障がい者用2台の計182台である。

道の駅「猪苗代」・工事請負3件の契約締結を可決

あなたの声を審議しました!!

6月定例会で審議された「**請願・陳情**」の結果は次のとおりです。

区分	件名	紹介議員氏名	付託委員会	審議結果
	請願者・陳情者の氏名			
請願	国からの「被災児童生徒就学支援等事業交付金」による十分な就学支援を要請する意見書を求める請願書	渡辺 二 公	文教厚生	採択
	福島県教職員組合 中央執行委員長 角田 政志 福島県教職員組合 北会支部長 戸内 敏博			
陳情	所得税法56条廃止の意見書提出を求める陳情書		総務	不採択
	会津若松民主商工会長 田勢 元喜 会津若松民商婦人部長 筑井 百合子 猪苗代町 伊藤 宏			

反対討論!!

国からの「被災児童生徒就学支援等事業交付金」による十分な就学支援を要請する意見書を求める請願書について
「渡辺 真一郎 議員」
天災による特別な支援は通常5年までである。震災以外で困っている子どももたくさんいる。ほかの事情で困っている子どもと区別すべきではないと思われるので反対。

【委員会提出議案】

「被災児童生徒就学支援等事業交付金」による十分な就学支援を要請する意見書の提出について

【提出者】 文教厚生常任委員会

【内 容】 東日本大震災によって経済的に困窮している家庭の子どもたちの就学・修学を保障するため、平成29年度以降も全額国費で支援する「被災児童生徒就学支援等事業交付金」による十分な就学支援に必要な予算確保を行うことを求める。

【審議した議案と可決状況】

件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	結果
	星野あけみ	瀧田勝昭	佐瀬 真	細貝 功人	佐藤英一郎	大橋 清喜	渡辺 二公	長澤 操	金本久美子	渡辺真一郎	五十嵐ミエ子	佐藤光幸	関沢和人	後藤公男	長沼一夫	
「被災児童生徒就学支援等事業交付金」による十分な就学支援を揺曳する意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—	可決

上記以外の議案については全会一致で可決しました。
※賛成は「○」、反対は「×」、届出欠席「欠」、議長は採決に加わらない。

予算審査特別委員会

平成28年度一般会計補正予算

【主な質疑】

歳入

《繰入金》

問 財政調整基金繰入後の残高は。

答 今回の補正を見込み、9億8028万8千円である。

歳出

《民生費》

問 臨時福祉給付金の対象者数と1人あたりの支給額は。

答 2種類の臨時福祉給付金である。一つは消費税引き上げに伴った所得の少ない方に給付するもので、1人あたり3千円で3300人を見込んでいる。

もう一つは障害・遺族基礎年金等受給者への給付で1人あたり3万円、225人を予定している。

《商工費》

問 バスツアーの委託料500万円の算定基準は。

答 東京からのツアーを3回予定している。1回あたりの募集人員は45人程度で、バス借上げ料、宿泊料、農業体験料、募集にかかる経費の差額を計上している。

《教育費》

問 猪苗代中学校の耐力度調査委託料540万円の内容は。

答 校舎のコンクリートを抜き、その劣化程度と鉄筋の付着強度を見て、コンクリートと鉄筋の連動を調査する。この調査を行った結果に基づき、補助金の要求を行っていきたい。

臨時会
(4月28日)

あ ら ま し
平成28年第3回臨時会は4月28日開催され、専決処分報告6件、工事請負契約締結1件を審議し、すべて原案のとおり可決されました。

【審議内容】

○道の駅消防防災施設建築本体工事請負契約の締結について
契約金額1億584万円、工期は平成28年10月31日と定める。

道の駅消防防災施設建築本体工事1億584万円で契約!



災害対策の拠点として、消防防災施設の建築本体工事が施工される。

※イメージ図であり、今後変更があります

臨時会
(5月24日)

あ ら ま し
平成28年第4回臨時会は5月24日開催され、専決処分報告1件、工事請負変更契約締結1件、工事請負契約締結2件、財産の取得1件を審議し、すべて原案のとおり可決されました。

【審議内容】

○専決処分の承認を求めることについて

平成28年度一般会計予算の予算費から、熊本地震災害義援金を支出するために、総務費へ100万円を増額。

○道の駅敷地造成工事(2工区)請負契約の一部変更について

契約金額を479万1960円増の1億1826万8640円に変更。

○道の駅建築・機械設備工事請負契約の締結について

契約金額7128万円、工期を平成28年10月31日とする。

○道の駅電気設備工事請負契約の締結について

契約金額4374万円、工期を平成28年10月31日とする。
○財産の取得について
町道除雪で使用する除雪ドレーザを1775万5200円で取得する。

熊本地震災害義援金100万円を承認

マイナンバーの現状は

【渡辺】全戸への通知は終了したか。

【答弁】昨年12月上旬に簡易書留で郵送した。現在までに61世帯分が未受領となっている。

【渡辺】個人番号カードの発行数は。

【答弁】5月末時点でカードの申請をした方は町の総人口の8・4%に当たる1257人で、うちカードを受け取った方は938人である。受け取りにきていない方は319人となっている。

【渡辺】マイナンバーが行政手続きに利用された実例は。

【答弁】連携開始が来年7月に予定されており、それまでは利活用が出来ないが、福祉などの社会保障や税の分野での運用の準備は進んでいる。

年金は、昨年5月に発生した日本年金機構からの情報流出事件の影響により、利用の延期が決定している。

【渡辺】マイナンバー制度の最大の目的は、行政の効率化により職員の削減と考えるが。

【答弁】運用が開始された後、業務の状況を見極め、職員の採用、配置を検討していく。

町税の賦課・徴収状況は

【渡辺】家屋の固定資産税に全国一律の決まった計算方式はあるのか。

【答弁】家屋の評価額を算出するために使用されている評価基準があり、それらは法令等で定められた全国統一のものである。

【渡辺】本年2月、町県民税の事務処理のミスはなかったか。

【答弁】一人分の給与所得4人の町県民税を遡及課税した。原因は、地方税ポータルサイトシステムを利用して提出された給与支払報告書が、税務課のシステムで取込処理がされなかったことである。

課税体制を強化し、再発防止に努める。

【渡辺】このほかに町税の算出ミスは。

【答弁】課税誤りはない。

スクールバスの利用は

【渡辺】台数と平均移動時間は。

【答弁】教育総務課所管分は3台あり、児童生徒の送迎で月80時間、学校行事等で400時間である。

こども課所管分は4台で、月152時間となっている。



こども課所管のスクールバス



瀧田 勝昭 議員

Q. 桜の名所や日本遺産の未来は

A. 先人が残した資源をこれからも見据えたい

日本遺産登録での活性化は

【瀧田】「会津三十三観音めぐり」での保科正之公に関連する登録は。

【答弁】会津17市町村で構成する「極上の会津プロジェクト協議会」の事務局が申請した。

仏都会津その精神から会津三十三観音でストーリー付けられた。本町では観音寺宝篋印塔と、安穩寺・銅造阿弥陀如来立像に照会があった。

【瀧田】町民とともに地域活性化に取組むために、どのように日本遺産を活用していくのか。

【答弁】日本国民全体の遺産であると同時に、町にとっても大きな遺産である。

先人が残した遺産の大きさ、重要性を十分理解できる機会を設け、歴史を勉強されている方の力を借りながら、町の日本遺産を理解することが最初だと思う。

次に、観光資源として展開する。看板、パンフレットをインバウンドに備え多言語化した物が必要であり、これから動き出すことになる。



観音寺川の桜
(猪苗代観光協会HPより)

「桜」などの観光資源の活用と保全は

【瀧田】観光客が観音寺川の桜に集中し、道路も渋滞したが、反省点は。

【答弁】駐車場、誘導員等、案内看板が不足していた。今年は、川桁駅周辺等の空き地も借用し駐車場の対応したが、4月1日の新聞の広告と、4月23日のテレビ生中継の反響により、大勢の方にお越しいただいたが、対応ができなかった。

猪苗代の桜の情報提供は、観光協会のHP、フェイスブックで提供している。町営牧場の桜並木は、ふりむけば磐梯山が、見下ろせば猪苗代湖が一望できる絶好のロケーションであり、集客に取り組む。

【瀧田】町民の憩や観光客の集客のため、神社仏閣とも結び、町内「桜ネットワーク」の構築は。

【答弁】日本遺産の猪苗代三十三観音の一番札所である観音寺には本堂脇のシダレザクラ、磐椅神社の大鹿桜や土津神社の高遠小彼岸桜など町内には桜の名所があり、「桜ネットワーク」の具現化に向け早急に検討したい。

【瀧田】観音寺川の桜並木の管理状況は。

【答弁】桜並木の管理は、幸野、川桁、新屋敷、曲渕、東館、白津の行政区で構成する「川桁山自然公園保勝会」が、会費と町補助金でアメシロ消毒やテングス病の防除、古損木の処理等を行っている。「川桁ふるさと会」が、地区内の桜の手入れ、観音寺川の清掃、カタクリの里整備、桜まつりへの協力がある。

地域住民の方々のご理解とご協力により観音寺川の桜並木が保たれている状況にあり、町も引き続き支援を行っていく。

※インバウンド・・・海外から国内へ来る観光客のこと。



渡辺 二公 議員

Q. ブラックバス等やカワウの駆除の対策は

A. 町と関係団体が連携協力する

ブラックバス等やカワウの対応は

【渡辺】カワウの駆除は。

【答弁】福島県カワウ管理計画により地元漁業協同組合の依頼を受け、捕獲許可内で実施している。今年度は2回実施し、目標を達成した。また、コロニーでの管理が重要で、分散させずに固体数調整と捕獲を進めている。

【渡辺】課題と若い世代への教育は。

【答弁】カワウの被害は猪苗代湖。秋元湖での被害の把握はしていないが、かなり発生していると思われる。蒲谷地の養魚場も被害を受け、養魚場近くで捕獲許可をいただいた。特定外来生物として指定されたブラックバスやブルーギルは、福島県内水面漁業調整規則でも移植放流してならないと定めている。これらの魚をほかの河川・湖沼に放流すれば、日本古来の生物や生態系を損ね農林水産業に被害を与えるため、これらの行為はしてはいけない事を、小学生を始め釣りを楽しむ全ての世代に理解してもらう事は重要である。



漁業関係に被害を及ぼすカワウ
(環境省HPより)

【渡辺】漁業協同組合や猟友会等の連携は。

【答弁】カワウ対策の実施では、生息地の市町村等が中心となり「日本野鳥の会」「県鳥獣保護管理員」「猪苗代・秋元非出資漁業協同組合」「猪苗代町有害鳥獣駆除隊」「猪苗代町」からなる「猪苗代カワウ対策会議」を開き、情報共有や連携をとっている。

【渡辺】「バス絶対駆除・バス釣り禁止」を明確にアピールすべきでは。

【答弁】ブラックバスは町内の湖沼に生息していて、他県からボートを持ち込んで釣ったり、フィッシング大会が開催されている。釣りを禁止するのではなく、釣ったバス類をリリースしない、決してほかの河川や湖沼に放流しない事を強く

高齢者等の投票対策は

【渡辺】投票の環境整備は。

【答弁】基本的には選挙人が自らの意思で投票所へ行っていたり、事になっっている。身体障害者手帳等が交付されている場合は、所定の手続きを経て郵便を利用し投票できる不在者投票制度がある。

また、都合で投票所へ行けない方は、期日前投票制度があり、非常に多く利用され普及しているの

で活用いただきたい。
集約された投票区には送迎バスを出しているので、投票所の設置増は考えていない。



佐瀬 真 議員

Q. 猿の害にモンキードッグを導入しては
A. 支援も含め考えて行く

「道の駅」のこれから

【佐瀬】急ピッチで工事が進められているが、開業までのスケジュールは。

【答弁】9月末迄に建屋を完成させる。駐車場など外周りの工事完成は10月末を予定している。

【佐瀬】開業予定日まで半年余りしかない。良い道の駅で成功するために、就任が決まった駅長のもとで企画案、内容などの告知・宣伝を早めにするべきではないのか。

【答弁】現在、企画内容を詰めている段階なので、適切な時期にお知らせすると聞いている。

【佐瀬】冬前に開業予定だが、県道115号線沿いの防雪柵は開業当初から撤去の予定か。

【答弁】防雪柵の撤去は近隣地区の方からの要望により、2シーズン状況を確認してから判断したい。

【佐瀬】周囲への影響を観察するには、防雪柵を上げたままなのか、折りたたむのか。

【答弁】県側と早急に話を詰める。撤去に関しては了解を得ている。



訓練後活躍している*モンキードッグ

有害鳥獣の被害拡大は

【佐瀬】被害を及ぼしている鳥獣に対しての町の取り組みは。

【答弁】熊の害は人的な被害に繋がるので、人里近くのすみかになりやすい藪の刈り払いを関係各所にお願している。近年増えているイノシシは畑の囲いと電気柵、青色LEDを試験導入している。増え続けるカワウは関係団体と協議のもと適正数処置したところである。

【佐瀬】カワウの営巣地は翁島に多く見られる。翁島に渡り調査に同行して確認して来たが、松の木のほとんどが枯れている。このままでは別な場所に営巣地を移す事が考えられるが対策は。

【佐瀬】新たに投票権者となる本町の有権者の状況は。

【答弁】新たに選挙人名簿に登録される方は、270人前後と見込んでいます。

学校林の現状は

【佐瀬】本町の学校林は、すでに伐期が到来していると思われるが。

【答弁】学校林現況調査によれば、平成3年度では、現在統合した小中学校も含め10学校、28・49ヘクタールを学校林として登録してあると報告している。その後、学校としての管理が難しくなり、分収契約をし、一部国有地を除き、ほとんどが財産区で地区に返還されたものもある。

現在確認できるものは、3校で7・53ヘクタールとなっている。

【佐瀬】分収の内容は。

【答弁】旧市沢小学校及び吾妻第二小学校については、現在の吾妻小学校に集約しているが、分収割合は造林者が8割で土地所有者が2割、東中学校は造林者が6割で土地所

【答弁】観光地である近くの天鏡閣周りに行かないよう監視をしているが、未だ飛来が確認されていないので具体的な対策は施行していない。

【佐瀬】増え続けるサルの群れ、現在確認されている数は。また、群れは何処まで拡大したか。

【答弁】現在12群れを確認していて発信機で生息追跡しているのは7群れ。表磐梯の見杵山で現在確認され始めている。

【佐瀬】私が3年前に提案した発信機が付いているサルの群れに対して、効果が確認されているモンキードッグ事業は検討したのか。

【答弁】様々な要因から検討段階である。問題は犬と飼い主を集めることと、訓練の費用や訓練期間等があると思っている。

【佐瀬】これからこの事業を企画される団体や個人などがあれば助成していくことはあるか。

【答弁】効果を考え、企画する団体などがあれば、前向きに支援していくことを検討する。

*モンキードッグ：野生のサルを畑や住宅地から追い払い、すみかの山林へ追い上げるように訓練を受けた犬のこと。最初に導入した長野県では10年も続けていて効果が確認されている。



佐藤 英一郎 議員

Q. 選挙権が18歳に引き下げられた事に伴う
対応は
A. 模擬投開票を実施し、啓発に努めてきた

18歳選挙権の対応は

【佐藤】どのような対策を講じてきたか。

【答弁】県の選挙管理委員会等と協力し、県立猪苗代高等学校において、模擬投開票を中心とした選挙啓発活動を行ってきたところであり、来年3月にも実施予定である。

また、高校生以外の方にもパンフレットの送付など、啓発活動を行う事としている。

【佐藤】新成人が投票所での立会を行った経緯があり、意識を高めることにつながると思うが。

【答弁】意識を高めるには非常に効果的な取り組みであると思われる。方法はいろいろあると思うので、県と協力しながら普及啓蒙に努める。





五十嵐 ミエ子 議員

Q. 安心して住み続けられるまちづくりは
A. 議会と行政が一体となり進めたい

乗合タクシーの対策は

【五十嵐】利用状況は。

【答弁】利用者は徐々に増加傾向にある。平成25年度以降は3500人から3600人の間で推移している。

【五十嵐】今後の運行計画は。

【答弁】国の許可事業であるので、地域交通会議及び利用者の意見を伺いながら検討していきたい。

【五十嵐】今後、乗り継ぎヤードを増やす検討は。

【答弁】スクールバスとのかかわりもあり、一連を検討しながら考えていきたい。



日常生活を支援するために運行している
予約制の乗合タクシー

健康づくりは

【五十嵐】特定健診の検査項目は。

【答弁】メタボリックシンドロームに着目した健診で、基本的な項目として、問診、身体測定、検尿、身体診察、血圧測定、腎臓・尿路検査、糖検査、脂質検査、肝臓検査がある。

【五十嵐】高血圧の最大原因である塩分チェック項目は。

【答弁】塩分摂取量の項目は入っていない。

【五十嵐】塩分チェックは実施できないか。

【答弁】今後、塩分検査について検討し、研究していきたい。



脂質・代謝・肝機能などいろいろな
数値が分かる血液検査

防雪対策は

【五十嵐】除雪の苦情と生活道路の除雪は。

【答弁】生活道に面した住居が数件あるが、排雪場所が確保されており、通行可能な幅員がある場合、除雪の対応をしている。

【五十嵐】除雪車が通行できない生活道路の除雪は。

【答弁】住民の方々が自ら除雪の対応をしている状況である。

【五十嵐】除雪・防雪への対応支援策は。

【答弁】地区区長を通じ、住民の皆様と除雪に関する情報を共有しながら、除雪事業に対応してまいりたい。

【五十嵐】消雪道路の整備状況は。

【答弁】消雪施設の現状は、町道の消雪施設として約6・4km、県道の消雪施設として約3・2kmで、新たな消雪道路の整備計画は、現時点において考えていない。

【五十嵐】消雪施設が老朽化し、作ることから守ることへの転換は。

【答弁】町内各所の消雪施設の老朽化調査を実施するとともに、対策を講じるよう努力する。

大橋 清喜 議員

Q. 磐根及び三金・三ツ和の農業集落排水事業の計画は
A. 合併処理浄化槽の事業地区である

各下水道事業の状況は

【大橋】接続状況は。

【答弁】公共下水道の猪苗代処理区の接続率は、74・14%である。特定環境保全公共下水道の志田浜及び中ノ沢処理区全体での接続率は、48・19%である。農業集落排水事業の金曲、白津、樋ノ口、湖岸、山潟の5地区全体での接続率は、64・44%となっている。

【大橋】これからの接続率の見通しは。

【答弁】平成27年度は、公共下水道は39件、特定環境保全公共下水道は6件、農業集落排水事業は16件併せて61件の接続があり、徐々にではあるが、接続率は伸びていくと考える。

また、下水道に接続しない理由では、老人世帯で後継者がなく水洗化を望んでいない、将来的に接続したいが現在浄化槽を使用している、経済的に厳しく費用捻出が困難であるなどである。

【大橋】下水道に接続する場合、1戸あたりの接続経費は。

【答弁】統計的に整理はしていないが、世帯ごとの事情が違う。例としては100万円とか200万円くらいの間くらいが一般的と思う。



湖岸地区農業集落排水処理施設

【大橋】下水道に改造するには高額な経費が必要になるが、どのような対応をしているか。

【答弁】水洗便所改造資金の融資斡旋制度は、接続に要する資金を金融機関から借り入れる場合、町が金融機関に対し融資斡旋をするものである。

融資斡旋額は1世帯あたり100万円以内で、4年以内に元金均等方式の分割払いによる返済となる。水洗便所改造資金の借入れに係る利子補給制度は、斡旋を受けた借入金の返済とともに支払った利子を全額補助するもので、年2回に分けて交付する制度である。

【大橋】合併処理浄化槽の普及率と1戸あたりの補助金は。

【答弁】下水道等事業計画区域以外の合併処理浄化槽の普及率は45・8%である。

補助金は、新築の場合の例を挙げると、7人槽で、窒素及びリンの除去型浄化槽であると96万2千円、一般住宅の立替の場合は、窒素及びリンの除去型浄化槽で118万3千円に既存の住宅に単独浄化槽がある場合は11万円の上乗せ補助があり、さらに単独浄化槽、汲み取り便槽の既存のものがある場合は撤去費として単独浄化槽は9万円、汲み取り便槽は3万円となっている。



長澤 操 議員

Q. 町内経済活性化のための施策は

A. 十万人、十万泊事業で観光宿泊者を増加させ活性化する

所得向上の対策は

【長澤】町民所得に対する認識は。

【答弁】緩やかな回復傾向にあるが、依然として原発事故に伴う風評は根深く、厳しい状況が続いている。

【長澤】町民の負担が増大していると感じるが。

【答弁】所得の伸びに比べ、社会保障費等の伸びが大きいため、町民の負担感が増大している状況にあると認識している。

【長澤】ふるさと納税の状況は。

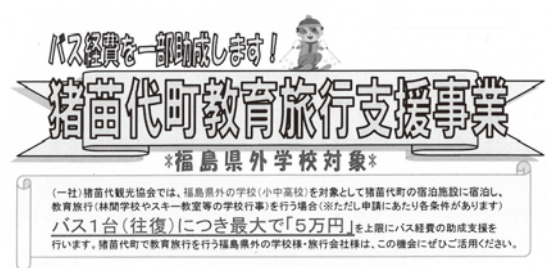
【答弁】本年度5月末時点で34件である。返礼品は「天のつづ」の希望が多い。その他には「猪苗代のんべいセツト」「猪苗代特産詰め合わせセツト」がある。
ふるさと納税を活用し、町の財源確保、また町内産品の普及につながるよう努める。



ふるさと納税返礼品の「天のつづ」

【長澤】十万人、十万泊の内容は。

【答弁】観光客回復のため、本年度創設の「猪苗代町観光誘客支援金交付事業」「猪苗代町外国人誘客支援金交付事業」「猪苗代町教育旅行支援事業」の4事業である。



未だ風評被害の影響が根強く残っている教育旅行。早期回復が待たれる。

【長澤】地域おこし協力隊員の配置は。

【答弁】2人の採用を決定した。1人は農林課で「農畜産物の6次化・ブランド化等の推進に関する活動に、もう1人は総務課で空き家調査などの「移住・定住促進のために必要な施策の推進に関する活動」に従事していただく。

空き家に対する取り組みは

【長澤】空き家の実態は。

【答弁】各行政区長及び町民の方からの危険な空き家の連絡・相談により把握している数は9地区10棟である。

【長澤】条例制定等による取り組みと、解体にあたっての助成の考えは。

【答弁】空き家等の規模の大小にかかわらず、所有者・管理者が適切な管理を行うとしている。

解体等に対する町の支援は設けていない。空き家等の実態調査と対策計画の中でどのような対応ができるのか検討したい。

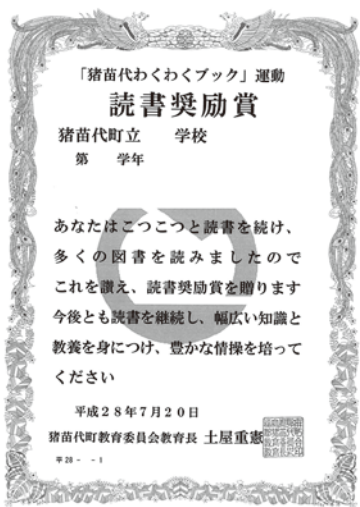
【長澤】景観・安全上、早急に対処すべきものは。

【答弁】所有者等に対し、早急に安全対策を講じるよう要請する。

児童・生徒の読書推進は

【星野】「猪苗代わくわくブック運動」の内容は。

【答弁】教育委員会や各学校の国語担当の先生方、各校配置の図書館司書補による発達段階に応じた推薦図書を中心に読書活動を促している。推薦図書を含めて10冊以上読んだ子どもに教育委員会が「奨励賞」を与え励ましている。



【星野】読む力を育む具体的な取り組みは。

【答弁】国語科の日々の授業を中心に、朝の10分間「読書タイム」や学校図書館の取り組みがある。幼時教育段階での「読み聞かせ」も行っている。

18歳選挙権の取り組みは

【星野】新しい対策は。

【答弁】選挙啓発のパンフレットを送付する。県立猪苗代高等学校では県の選挙管理委員会と協力し、模擬投票を行った。今後も継続し、啓発活動を進めていく。

【星野】期日前投票所の増設や、特別に時間帯を設ける考えは。

【答弁】投票所の増設は考えていない。投票率アップのためには効果的と考えるが、今後検討していきたい。投票の時間は、今回の参議院議員通常選挙では、午後8時までの投票を行うことにしている。



星野 あけみ 議員

Q. 「猪苗代わくわくブック運動」の効果は

A. 効果は十分にあると認識している

梅雨お見舞い申し上げます

これから本格的な夏を迎える時期でございますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、ご承知のとおり、今回の参議院議員通常選挙から、19歳の方や18歳の誕生日を迎える方も投票できることになりました。

日本の将来を担う皆様の声が、これまで以上に政治に反映されていきます。

7月10日投票日。ご家族やご友人と一緒に投票所に足を運んでみてはいかがでしょうか。

投票日 平成28年7月10日(日)
投票時間 午前7時～午後8時
期日前(不在者)投票
平成28年6月23日(木)～7月9日(土)
午前8時30分～午後8時

はじめての選挙 18歳選挙
私たちの将来は、私たちが決める。

猪苗代町選挙管理委員会
〒969-3123 福島県耶麻郡猪苗代町字城南100番地
TEL 0242-62-2111 FAX 0242-62-5175

猪苗代町選挙管理委員会から、新たに投票できる方に送られた通知

委員会レポート

文教厚生常任委員会

猪苗代町内各中学校の部活動の実態調査

調査内容

猪苗代中学校、吾妻中学校、東中学校へ出向き、調査を行なった。

①猪苗代中学校

全生徒（266人）が部に所属している。富岡の特設バトミントン部を除き、運動部と吹奏楽部で11の部活がある。顧問の先生は2人体制で考えているが休む暇もなく、負担をかけている。指導者の負担軽減も考え、部の編成や見直しも必要になっている。

②吾妻中学校

常設部は野球部、バレー部、卓球部（男子・女子）である。野球部は人数が少なく、春の大会は出場できても、秋の大会は正式参加ができない状況である。

すべての部活で、部活動ができないかもしれないという不安から、吾妻小学校から猪苗代中学校へ入学する子どもの動きがある。

保護者へアンケートをお願いし、話し合いを予定している。

③東中学校

生徒数は、昨年度は97人、本年



放課後、部活動を行う中学生

度が82人、29年度予定が80人で、減少の一途をたどっている。部活動の運動部は4つである。本年度は特に1年生の数が18名と例年になく少なく、集団スポーツの存続が一番心配される。合同チームを組んで出場し、北会津大会で勝ち進んでも、全会津大会に出場できない厳しい条件がある。本校としては可能な限り、単独参加を考えている。

生徒数が減少し、子どもたちの活動が制約されていく。

【意見】

・練習試合などの移動経費等の支援が必要である。
・学校ごとに工夫し、良さを出している。

部活動ができなくても、中学校の統廃合を急ぐのではなく、保護者や地域住民の意見をどのように反映させていくのかをよく議論し、今後の統合の進め方を町民に公表していく必要がある。

総務常任委員会

財産区の運営状況

調査内容

財産区とは、市町村の一部で財産を有し若しくは公の施設を設けているもの、又は市町村の配置分合、若しくは境界変更の際の関係地方団体の財産処分に関する協議に基づいて、市町村の一部が財産を有し若しくは公の施設を設けているものとされている。

財産区には二つの種類があり、明治22年の市制町村制の施行の際に認められた旧財産区と、市制町村制施行後の配置分合又は境界処分の協議により認められた新財産区があり、本町では猪苗代地区、千里地区、長瀬地区、月輪地区、吾妻地区が旧財産区、翁島財産区が新財産区にあたる。

旧財産区は、町村制の施行のために推進された大規模な町村合併を促進するため、やむなく合併後も旧町村単位で従来の財産を所有する権利を認められたもので、地方自治法により旧財産区には旧慣使用権が認められている。

新財産区は、町村制施行後それ自身行政権の主体としての地位を有することとなった町村が、配置分合又は境界変更の際の財産処分の協議により、そのままその所有する財産の権利主体となったものであり、旧財産区に比べて設置の事実、財産の内容、範囲等極めて明瞭であると考えられる。

平成28年度当初予算ベースの縁

故集落交付金は、猪苗代地区財産区が282万円、長瀬地区財産区が858万円、吾妻地区財産区が733万2千円である。

賃貸借等の収入は、猪苗代地区財産区が440万8千円、翁島地区財産区が157万円、長瀬地区財産区が897万9千円、吾妻地区財産区が816万2千円である。

【意見】

昭和30年の町村合併以降、それぞれの区域内も社会状況も様々に変化していることから、財産区の有様も、今後検討すべきである。

一般会計への繰出金が、事務を取扱う職員の人件費と比較して過少といわざるを得ないので、算出方法について再検討されるよう提案すべきである。

また、各財産区の基金の使途については十分な検討と適切な規約等の策定を求め、地域への有効な還元について提案すべきである。財産区の運営については、地域の事情もあり苦心が認められるが、適正な運用に努められたい。

各財産区の繰出金	
財産区名	金額
猪苗代地区	190千円
翁島地区	447千円
千里地区	0千円
月輪地区	0千円
長瀬地区	230千円
吾妻地区	300千円

経済建設常任委員会

商工観光課所管の委託事業と補助金

調査内容

委託事業・補助事業、それぞれの事業内容、金額など、適正であるか調査した。

1 委託事業は、項目で8事業、細目においては18事業となっている。

委託事業の委託先

- | | |
|------------|-----|
| ① まちづくり猪苗代 | 1件 |
| ② 猪苗代観光協会 | 2件 |
| ③ その他 事業所 | 15件 |

2 補助事業は、項目では7事業、細目においては34事業となっている。

補助事業の委託先

- | | |
|-----------------|-----|
| ① 猪苗代町商工会 | 4件 |
| ② 猪苗代観光協会 | 10件 |
| ③ その他 事業所・団体・個人 | 20件 |



7月10日に完売したハッピートラベルチケット

【意見】

・委託事業は、作業日報、報告書、写真で確認しているが、担当職員が現地に行つて、作業等の確認をすべきと思われる。

また、委託料金に格差があるように思われるが、一つ一つの委託事業を取つても金額に違いがみられる。もっと精査をし、的確な金額を算出すべきである。

・補助事業は、商工業振興費については、対象事業所が約250件程度あるが、対象外の事業所の対策を今後検討すべきと考える。

次に、観光費・企画費だが、「いなわしる体験活動支援事業」及び「教育旅行支援事業」の補助金はとても良いことである。

各種クーポンに関しては、ホテル・旅館又は観光協会会員の施設及び店舗でしか使用できないことが問題である。

プレミアム商品券は、町外の方が購入できるもので、1人1枚から何枚でも買える商品券である。これが他の町村で問題になっている。

また、どの商品券でも、猪苗代町全体で使えるものにしなければ、何の意味もない。宿泊施設は町外資本がほとんどで、猪苗代町民には何のメリットもない。このことは今後の課題である。

議会広報編集特別委員会

福島県町村議会広報研修会

県内40自治体、約255名の参加のもと、講演・広報クリニックが行われた。

議会広報サポーターの芳野政明氏による「住民に読まれる 議会活動が伝わる 議会報の基本と編集技術」について、基調講演があった。

議会だよりとは、自治体における「政治」を公開し、議会に関する情報を共有、住民と接近するツールである。

住民に議会活動が伝わるまでが議会の仕事である。どんなに素晴らしい議会活動も、住民が知らなければ評価がないにも等しい。議事や諸活動の内容が、住民に伝わる情報共有される。住民に見える議会をどう作るか。住民の意見を聞く議会をどう作るか。



住民に見える議会の中心が議会だよりの充実だろう。読んでもらうて役に立つ、なんといっても住民との接触率が高いのは、圧倒的に議会だよりである。

議会から住民に見える編集「伝える」広報から「伝わる」広報へ、読者の立場に立った編集、読みたくなる議会だよりを目指していく。

熊本地震災害義援金



©2010熊本県くまモン#熊本支援

平成28年4月14日に発生した熊本地震災害義援金として、猪苗代町から百万円が送られました。

その他に、猪苗代町議会議員がそれぞれ1万円ずつ義援金を出し合い、お送りしました。

5年前の東日本大震災では、熊本県からも応援をいただき、元気をいただきました。今度は猪苗代町から熊本県へ元気を届ける番です。熊本の方、頑張ってください。

町民の声



月輪地区
鈴木 勘一郎さん

消防団の これまでとこれから

私が消防団に入団してから早8年になります。消防活動を通じて楽しい思いも多く経験させていだきましたが、辛い思いもしました。振り返ると概ね良い8年間でした。さて、そんな消防団ではあります。入団してから今までに感じたこと。また、今年度は消防幹部大会で「建議案」を述べさせていたたく機会もありましたので、今後の町の地域消防に関して、見つめ直す良い機会でした。まず、年間通しての消防団の行事による、若い消防団員の私生活への影響が大変大きいということです。

いくつかの行事については、毎年やる必要があるのかなとか、もっと緊急時に役立つ技術や知識を身につけられる研修をしてほしいなど思っています。また、実際に火事や大きな災害が発生した場合に若い消防団員はすぐに現場に駆け付けるのは難しいとも感じています。そのことに関して、普段地区にいる住民の方に地域の防災や消防稼働の一翼を担ってもらえないだろうかと思っています。

それにしても、消防団に関して住民の方の関心がほぼ無く、全てを消防団にまかせるきりになっているようにも感じます。それでは地域の安心と安全の確保は難しいように感じます。個人的には、消防団の規模を縮小して、地元の方たち全員で協力し合い防災・防火・防犯にあたっていくのが理想ではないのか、そのためにもこれからの地域の防災をどうしていくのかを、町全体で考える時期に来ていると思いますので提案いたします。

議長杯GG大会

6月20日、カメリーナにおいて、議長杯GG(グラウンドゴルフ)大会が行われました。



男子の部は秋山武志さんが、女子の部は小池亜子さんがそれぞれ優勝しました。おめでとうございます。

傍聴においで下さい

**9月議会は
9月6日(火曜日)
開会予定です。**

【一般質問予定日:12日(月)・13日(火)】

※質問者・質問内容については9月1日以降に町のホームページ(議会事務局)に掲載します。また各公共施設にチラシを掲示しますのでご覧ください。

掲示施設名

- ・役場町民ホール
- ・学びいな
- ・和みいな
- ・カメリーナ
- ・町立猪苗代病院
- ・老人福祉センター
- ・如風庵
- ・まちのえきまるしめ

議会広報編集特別委員会

議長	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
長沼	渡辺	細貝	佐瀬	瀧田	星野	佐藤	後藤
一夫	二公	功人	真	勝昭	あけみ	英一郎	公男

佐藤 英一郎

編集後記

選挙権が18歳に引き下げられて、初めての選挙「参議院議員通常選挙」が実施されることとなった。

ある意識調査で「18歳選挙権」に期待していることを尋ねると「これから将来を担う世代の意見が反映されやすくなる」との回答があった。

不安なことは「高校生に判断できるのか」などの記述があったと伝えられている。

議会においても、選挙権が18歳に引き下げられたことに町はどのような対応をしてきたのかとの質疑がなされた。

はたして彼らの期待・不安に行政は応えることができるのか。重い責任が課せられることになったと思う。